

令和4年4月12日（火）

令和4年度 新入生オリエンテーション

学校長 下村昌弘

1 はじめに

1年生の皆さん。新しい学校生活が始まりました。中学校時代は心も身体も不安定で、いわゆる“一番めんどくさい時期”。しかし、不安定なのは変化しているからであり、変化は成長でもある。それをきちんと受け止めていくしかない。

この4月から民法が改正され、18歳が成人なった。あと3年で大人の仲間入り。それまでいろいろな経験をしてしっかり自分を鍛えてほしい。

2 西高に誇りを

数ある高校の中から西高を選んでありがとう。本校の校風を引き継いでくれるのにふさわしい人たちが集まってくれていることに感謝している。

そんな皆さんにはこの学校のことをよく知ってもらいたいし、何より誇りを持ってもらいたい。



〔校章の由来について〕

① なぜ「松」の木のデザインなのか

本校はかつて坊主町の“西の浜”近くに校舎があった。その正面玄関の両側には品格ある松が雄姿を誇っていたという。

松はその姿が雄渾で、樹齢が長く、葉の色を変えない常緑樹であり、古来日本では、節操、長寿、繁栄等の象徴として高く評価されてきた。

② 「W」は何を表しているのか

「WEST」の意。

6つの「W」(When、Where、Who、What、Which、How)の意。

後者は一般に5W1Hと言われており、情報伝達の重要なポイント。別の言い方をすれば真理を探究するための着眼点と言える。

③ なぜ「2本」なのか

「師弟同行」、「仲間との協働」の意。Wは二本の松(二人の人)を結んでいるWithでもある。

④ 松の葉数は何枚か

7本、ラッキーセブン。幸運への祈りと願い。くわえて先端にあるのは新芽。若者の洋々たる前途を祝福している。

仲間とのコミュニケーションを大切にしながら、困難に負けず毅然とした態度、颯爽とした品格を兼ね備えたイメージこそが本校の校風。こんなにたくさんの意味を包括している校章を私は見たことがない。

ぜひ皆さんにはこの校章を頼りに西高生としての矜持(プライド)を持ってほしい。



3 失敗を恐れずに行動すること

「好き」の反対は? 「嫌い」。「賛成」の反対は「反対」。「成功」の反対は「失敗」。

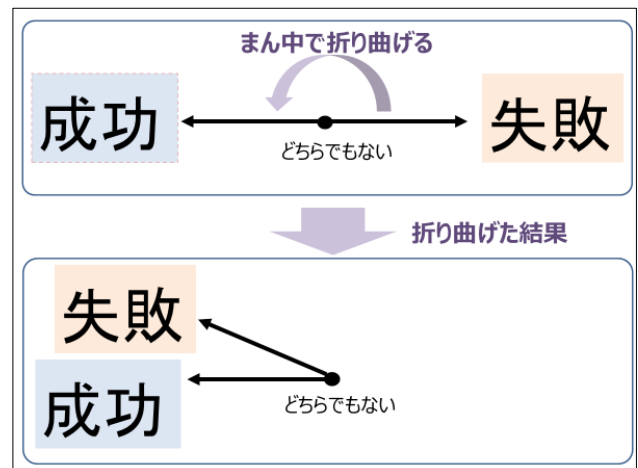
こういうのを反意語(反対の意味を持つ言葉)というが、これをちょっと別の角度から見てみることで、新しいものの見方ができる。

例えば「成功」と「失敗」の関係。

これは反対の意味なおで、両端に位置する。

では、これをまん中から折り曲げてみる。

すると、左の端には「成功」と「失敗」が並び、「成功と失敗の差は少ししかない、表と裏の関係」といった感じになる。

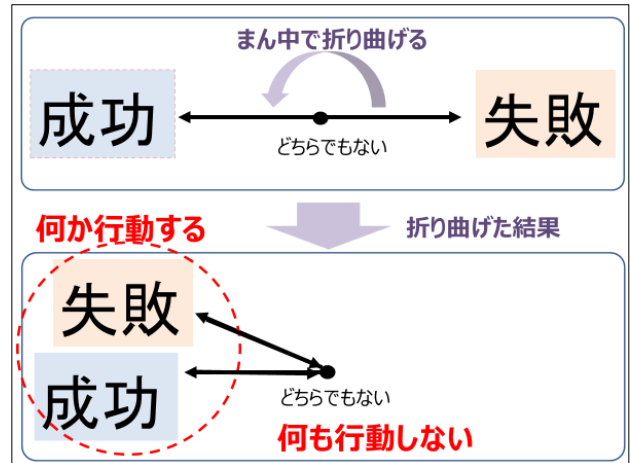


そして、この線の右端は、「成功でも、失敗でも、どちらでもない」状態ということになる。

では、ここでいう、「成功でも、失敗でもない」とはどんな状況だろう。

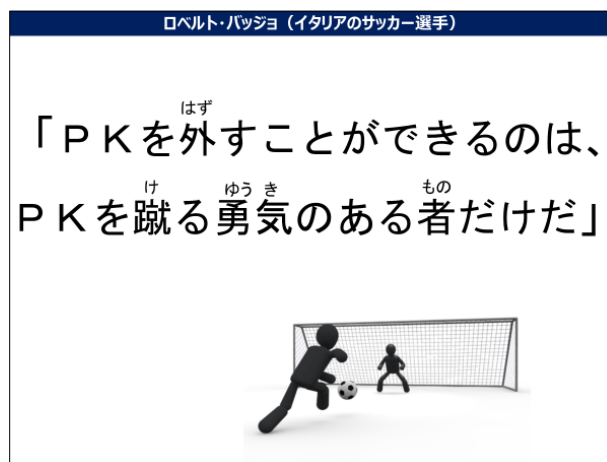
そもそも「何か行動し」て、うまくいけば「成功」だし、うまくいかなければ「失敗」。ということは、「成功」「失敗」の反対は「何も行動しない」ということになる。

この図からも分かるように、実のところ、「成功」と「失敗」は紙一重で、それらの反対の言葉は「何もしない」ということなのだ。



少し前の話になるが、イタリアのサッカー選手、ロベルト・バジヨは「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気のある者だけだ」と言っている。

サッカーをやっている人はもちろん、やったことのない人でも、PK（ペナルティ・キック）の場面は見たことがあるだろう。とても緊張する場面だ。成功するも失敗するも紙一重。要は、それにチャレンジする勇気が大事なのだ。



昨年冬の北京オリンピック。スピードスケートで高木那奈選手が団体パシュート競技の決勝戦最終コーナーで転倒した。あれも結果的には失敗かもしれないけれど、決勝の舞台に挑戦したこと自体が貴い。

さらに先週末、ボクシングの村田諒太選手がゲンナジー・ゴロフキン選手に果敢に挑戦した。結果は9回TKO（テクニカルノックアウト）。しかし圧倒的にゴロフキン有利だったにもかかわらず、過去の弱い自分を乗り越えるために村田選手は挑戦した。その行動がすばらしい。

4 「勉強」の意味

「勉」＝「免」＋「力」

「力」は鍬や鋤の象形文字。「免」は女性が赤ちゃんを産み落とす姿。

つまり、「勉」には相当な力があるというメッセージが込められている。

「強」＝「弘」＋「虫」

「弘」は弓に弦がかかっている象形文字。「虫」は切れない糸を吐く“テグス”という昆虫。

つまり、「強」には切れない弦を張った強力な弓の意。

「勉強」にはつらさに耐えて頑張る気迫が込められた言葉。“音楽でも聴きながら楽しんで勉強”なんてのは本来あり得ない。

みなさん、覚悟を決めて激しく「勉強」しよう。

勉強



4 おわりに

入学式でも話をしました。目標を持つこと、志を立てること。

できない理由を並べるのではなく、やるためにはどうするか、それをこそ、皆さんは考えてください。失敗を恐れずにチャレンジする人にこそ、成長は訪れる。

西高はそういう学校だ。

志を持って果敢にチャレンジするものに道は開かれる。皆さんの頑張りに期待している。

まとめ

目標をもって
チャレンジしよう！